

令和5年度ホームページ新規登録の視聴覚教材一覧

メディア:DVD:D 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	制作年	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	人権感覚	1124	バースデイ	2022	D 字幕 副音声	37分	高 青 教 P 一般	<p>作品のテーマは、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。</p> <p>性的少数者については、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けことが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようとする向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。</p> <p>性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。</p>
青少年教育		1125	18歳が知るべきこと 成人になる人が知るべき注意点と心構え	2023	D	13分	高 青 教 P 一般	<p>成人年齢が2022年4月から、現行の20歳から18歳に引き下げられました。約140年ぶりに成人の定義が見直されることで、何が変わるのか、私たちの暮らしにどのような影響がもたらされるのでしょうか。普段、買い物をするだけでも、私たちは契約をしています。買い手が欲しいと意思表示をし、売り手がそれに了承したとき、つまり消費者と事業者が商品の内容、価格、引き渡し時期などで合意したときに契約は成立します。契約は法的な拘束が生じる約束ですので、未使用でもレシートがあっても、消費者側の一方的な都合で解約することはできません。これは商品の金額の高い安いにかかわらず、守らなければならない大切な社会的ルールなのです。「契約は守らなければならない」のが原則ですが、消費者トラブルになりやすい取引については、契約をやめることができる特別な制度としてクーリング・オフがあります。</p> <p>成人年齢が18歳に引き下げられたことで、私たちの暮らしにどのような影響があるのか、成人になる人が知るべき注意点と心構えを知ってもらうために制作しました。</p>
人権教育	人権感覚	1126	言葉があるから…	2023	D 字幕 副音声	31分	中 高 青 教 P 一般	<p>「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。</p> <p>あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。</p> <p>自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。</p>
人権教育	人権感覚	1127	あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・生きづらさ～	2022	D 字幕 副音声	37分	高 青 教 P 一般	<p>主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト(人工肛門保有者)の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人の関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。</p> <p>外見で決めつけたり、「障害者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通して学んでいくことができます。</p> <p>職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。</p>